ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO.2	調査位置	岡崎市真伝町他１箇所地内			北緯	
発注機関	岡崎市			調査期間	平成13年8月31日～13年11月30日	東経	
調査業者名	青葉工業株式会社名古屋支店 電話 (052-915-5331)	主任技師	井戸 忍	現場代理人	山田 金造	コア鑑定者	山田 金造	ボーリング責任者	島津 健司
孔口標高	+33.40m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 船面 90°	使用機種	
総掘進長	10.05m								

試錐機	ワイピーエム YBM－05	ハンマー落下用具	自動落下装置
エンジン	ヤンマーディーゼル NFD－9K	ポンプ	ワイピーエム GP－5

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	32.70	0.70	0.70		シルト混じり砂	黄褐			
1	32.40	0.30	1.00		シルト質砂	暗灰			
2					シルト混じり砂	黄灰～褐灰	非常に緩い		
3	29.80	2.60	3.60						
4	28.90	0.90	4.50		シルト混じり砂	青灰	緩い		
5	28.10	0.80	5.30		砂質シルト	青灰		軟らかい	
6	27.10	1.00	6.30		シルト混じり砂	黒灰	非常に緩い		
7					砂	灰～淡灰	緩い		
8	25.50	1.60	7.90						
9					マサ土	淡褐灰			
10	23.35	2.15	10.05						

孔内水位m／測定月日：10/26 1.80 ▽

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15	1	1		2	2
1.46	18	13		31	
2.15	1			1	1
2.45	30			30	
3.15	1	1	1	3	3
3.45				30	
4.15	1	2	2	5	5
4.45				30	
5.15	1	1	1	3	3
5.45				30	
6.15	1	1	2	4	4
6.45				30	
7.15	2	2	3	7	7
7.45				30	
8.05	50			50	50
8.13	8			8	
9.00	50			50	50
9.02	2			2	
10.00	50			50	50
10.05	5			5	

原位置試験

深度 m	試験名および結果
6.50	現場透水試験 k＝2.36E－3cm/sec
6.50	

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法
4.00	2－4－T－2	T
5.30		
6.30	2－5－	

室内試験（ ）：物理 重量 物理 単軸 物理 重量

掘進月日：10/26 10/27